

# 「善意」とは

## どうやら社会の免疫の

## ようなものらしい。

人の「善意」は社会に

何をもたらすのでしょうか？

教えてください、

小野先生。

例えば、からだにケガをしたら

カサブタをつくって血を止め、

体内に病原菌やウイルスが侵入したら

退治するように、ボランティアとは

社会の困り事やほころびを食い止める

血小板や免疫細胞のような存在だと

考えています。それは、脳や筋肉が

からだを動かすように、世の中を大きく

動かすものではないかもしれませんが、けれど、

社会全体が健康であるためには欠かせないもの

なのです。人や地域に問題が見つかったとき、

『これはほうっておくとまずいぞ』と感じて駆けつける。

そんな世の中の血小板や免疫細胞的な人が、ときに個人で、

ときには組織をつくって、ボランティアを行っている。

私自身は最近そんなふうにはボランティアを理解しています。

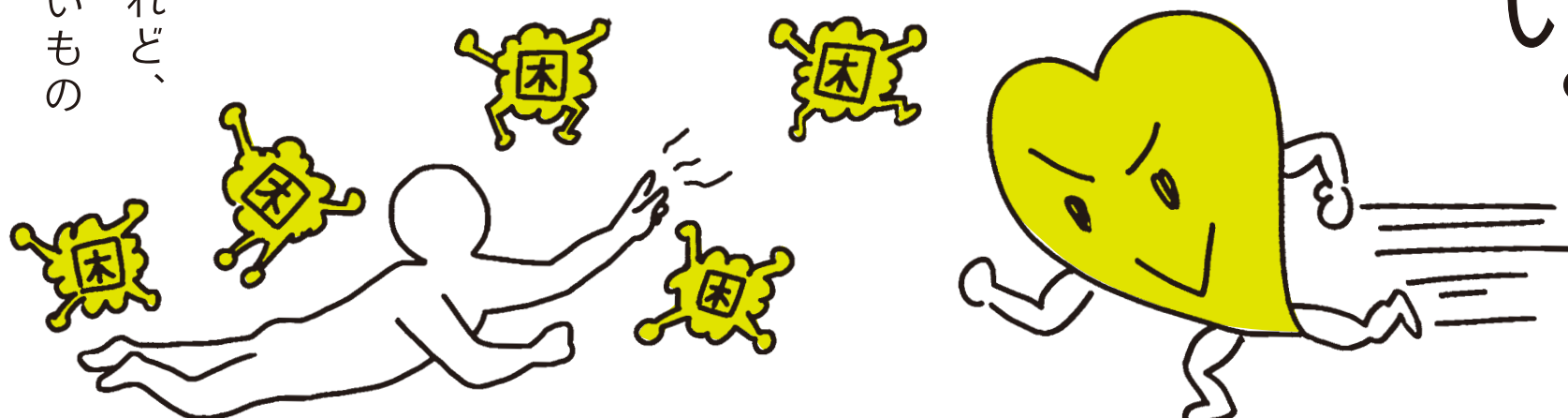
「偽善」と揶揄するむきもあるけれど、

「善意」というセンサーで異常をキャッチし、

誰よりも先に手を差し伸べる人がいて、

それにはちゃんと意味があるということを知

ってもらいたいと思っています。



人間科学科

准教授 小野奈々



(2020年度まで現代社会学科に所属)

和光3分大学

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜 2021年1月5日(火)出願開始!

WEB出願

一般選抜前期(英・国方式)  
一般選抜前期(2科目選択方式)

大学入学共通テスト  
利用選抜(A日程)

一般選抜では、1年次の学費が免除になる特待生試験も実施!  
特待生試験は総合型選抜前期・学校推薦型選抜合格者も出願可能

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から徒歩約15分  
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

# 和光大学